

Windows7 から Windows10 に パソコンを入れ替える方へ

《EX-TREND 武蔵 シリーズのデータ・設定の移行手順》

Windows7→Windows10 への移行の流れ



Windows7 での作業

- ① データ・設定のバックアップ
- ② ライセンスの解除

Windows10 での作業

- ③ FC コンシェルジュのインストール
- ④ EX-TREND 武蔵のインストール
- ⑤ ライセンスの認証
- ⑥ 入力専用ライセンスの初期設定
- ⑦ データ・設定のリストア（復元）
- ⑧ セキュリティソフトの除外設定

- ㄨㄚ -



Windows7 での作業

- ① データ・設定のバックアップ
- ② ライセンスの解除



1

データ・設定のバックアップ

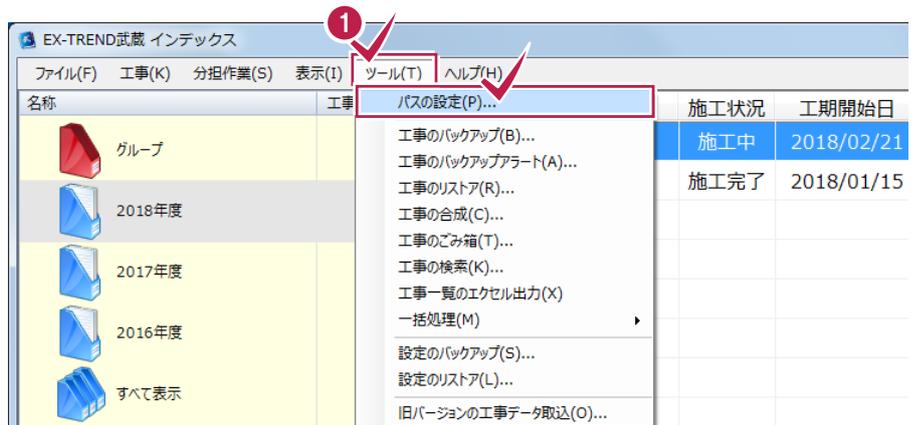
まず、旧パソコン（Windows7）のEX-TREND武蔵で、「工事データ」と「設定」をバックアップします。

1-1 工事データをバックアップする

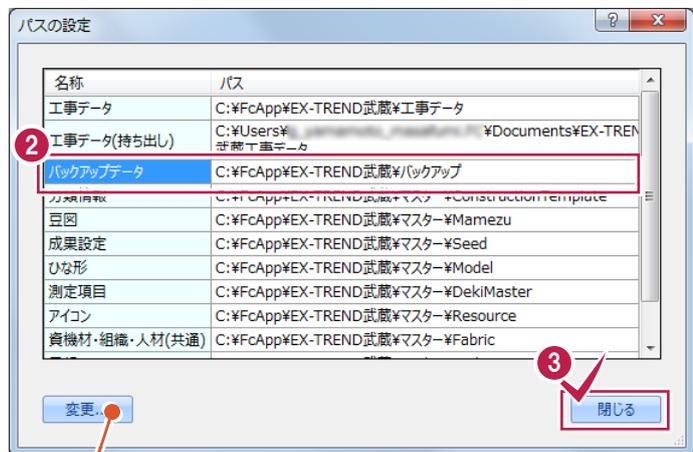
工事データをバックアップする手順です。 ※インデックス以外のプログラムは終了しておいてください。

- ① まず、バックアップ先のフォルダーを確認します。

インデックスの
[ツール] - [パスの設定]
をクリックします。



- ② 「バックアップデータ」の「パス」を確認します。
ここで設定されているフォルダーに、バックアップされます。
- ③ 確認を終えたら [閉じる] をクリックします。



バックアップ先のフォルダーを変更する場合は、「バックアップデータ」を選択し、[変更] ボタンをクリックしてフォルダーを指定します。



1

2



3

4

5

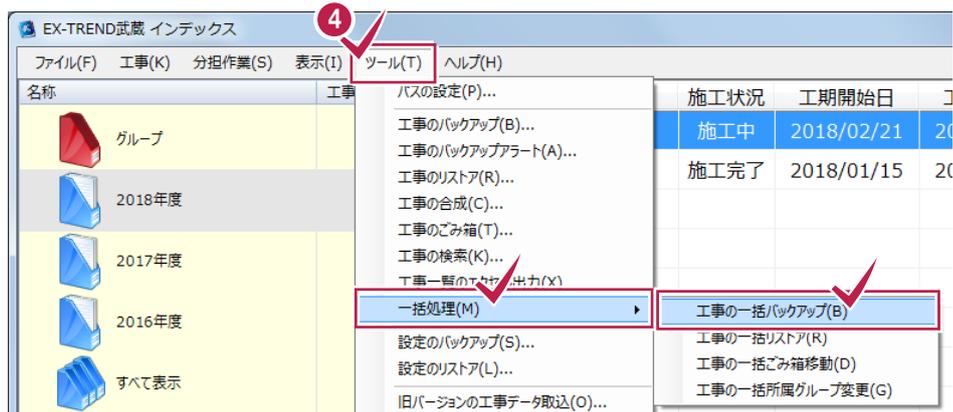
6

7

8

- 4 バックアップを実行します。

インデックスの
[ツール] - [一括処理] -
[工事の一括バックアップ]
をクリックします。



- 5 バックアップする工事のチェックボックスを「オン」に
します。

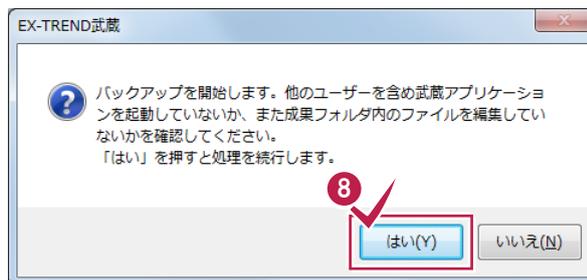
すべての工事をバックアップする場合は [全選
択] をクリックします。

- 6 [バックアップ後フォルダを開く] のチェックを「オ
ン」にします。

- 7 [OK] をクリックします。



- 8 [[はい] をクリックするとバックアップが開始されま
す。





1

2



3

4

5

6

7

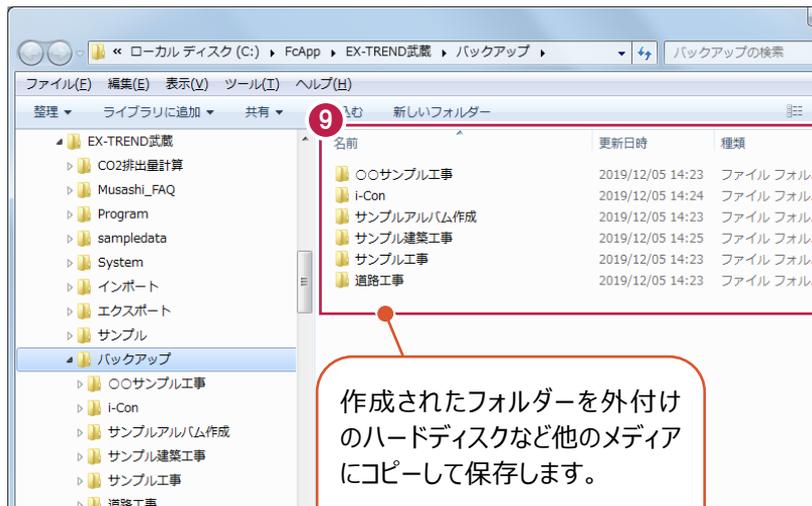
8

9 バックアップが完了すると、バックアップ先のフォルダーが開きます。

工事データ毎にフォルダーが作成され、工事データのバックアップファイルが格納されます。

このフォルダーを外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーします。

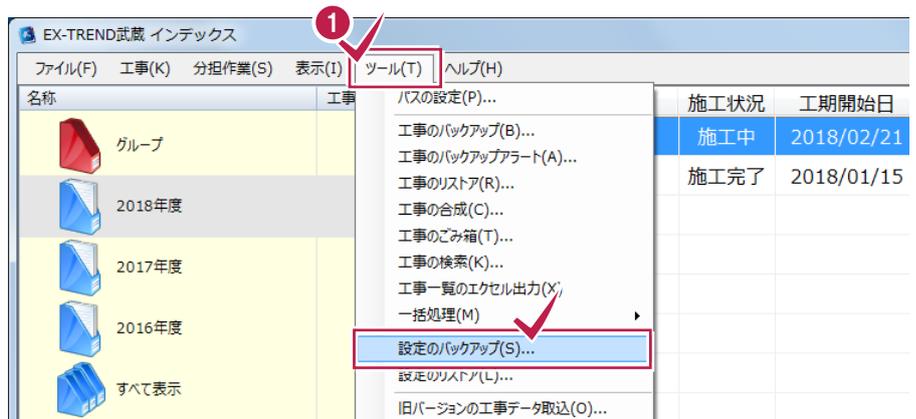
以上で、「工事データのバックアップ」は完了です。



1-2 設定をバックアップする

設定をバックアップする手順です。 ※インデックス以外のプログラムは終了しておいてください。

- ① インデックスの
[ツール] - [設定のバックアップ]
をクリックします。



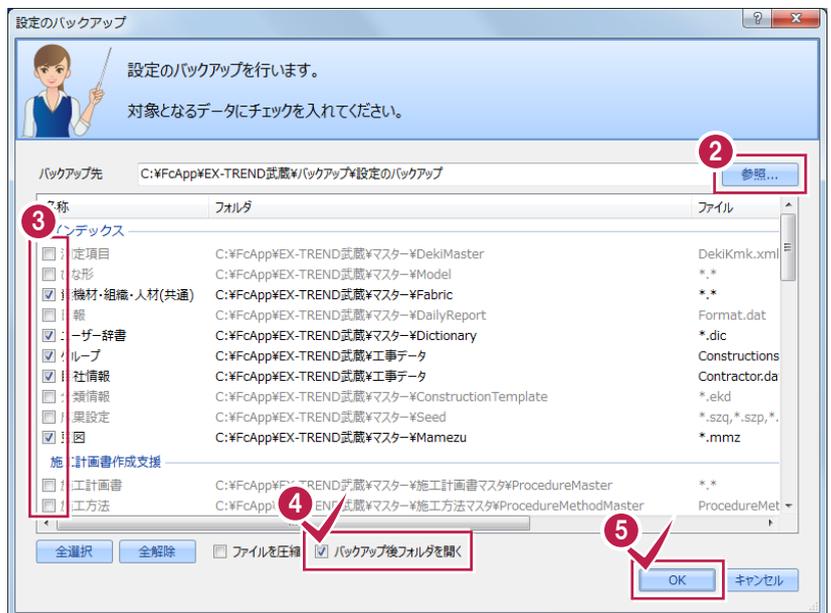
- ② [参照] ボタンをクリックして、バックアップ先のフォルダーを指定します。

- ③ バックアップする設定のチェックボックスを「オン」にします。

すべての設定をバックアップする場合は [全選択] をクリックします。

- ④ [バックアップ後フォルダを開く] のチェックを「オン」にします。

- ⑤ [OK] をクリックします。

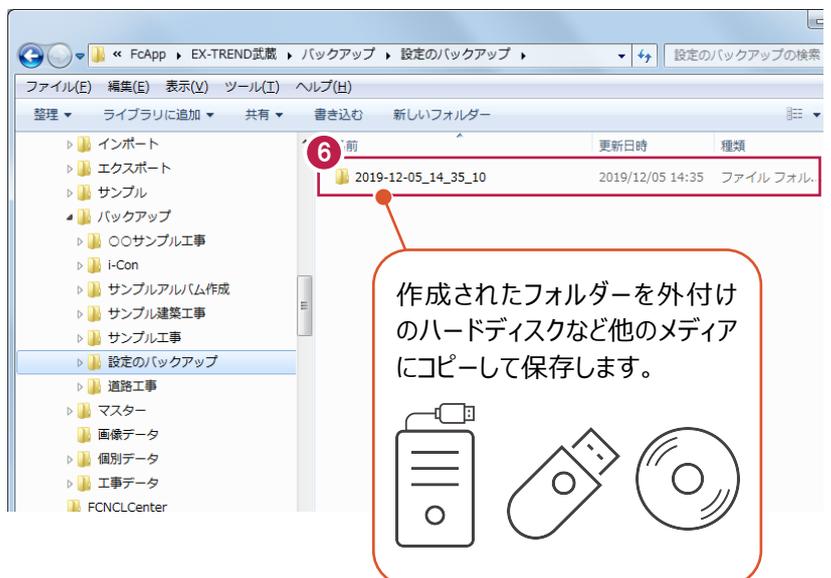


- ⑥ バックアップが完了すると、バックアップ先のフォルダーが開きます。

バックアップした「日時」のフォルダーが作成され、設定のバックアップファイルが格納されます。

このフォルダーを外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーします。

以上で、「設定のバックアップ」は完了です。





2

ライセンスの解除

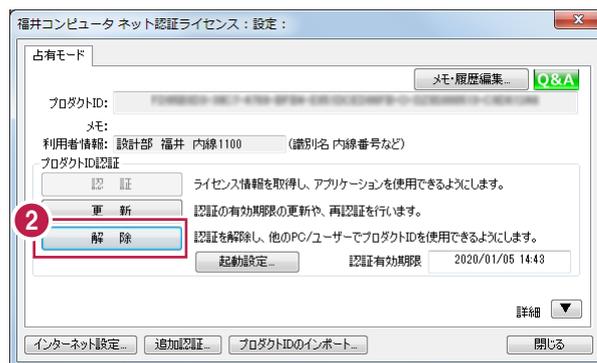
旧パソコン（Windows7）で使用している「ネット認証ライセンス（占有）」を解除します。ライセンスを解除しないと、新パソコン（Windows10）でライセンスを認証することができません。

2-1 ネット認証ライセンス（占有）を解除する

- ① 画面右下のタスクバーの通知領域にある、「FC ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックします。

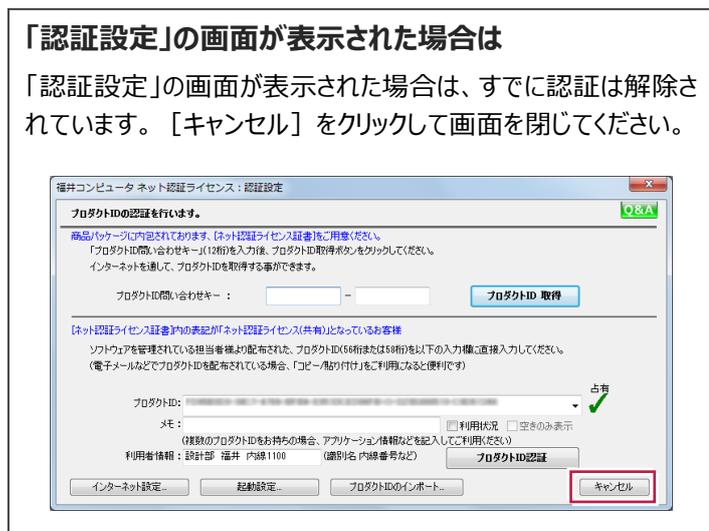


- ② ネット認証ライセンスの「設定」画面が表示されます。
[解除] を押すとネット認証が解除されます。



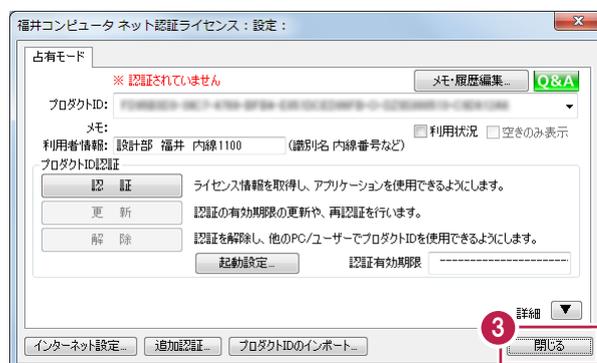
「認証設定」の画面が表示された場合は

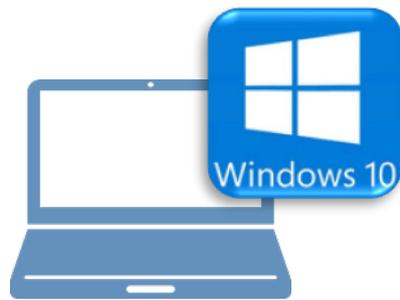
「認証設定」の画面が表示された場合は、すでに認証は解除されています。[キャンセル] をクリックして画面を閉じてください。



- ③ [閉じる] をクリックして画面を閉じます。

以上で、「ライセンスの解除」は完了です。





Windows10 での作業

- ③ FC コンシェルジュのインストール
- ④ EX-TREND 武蔵のインストール
- ⑤ ライセンスの認証
- ⑥ 入力専用ライセンスの初期設定
- ⑦ データ・設定のリストア（復元）
- ⑧ セキュリティソフトの除外設定



3

FC コンシェルジュのインストール

新パソコン（Window10）に、EX-TREND武蔵の最新プログラムをダウンロードするのに必要な「FCコンシェルジュ」をインストールします。

3-1 FCコンシェルジュをダウンロードしてインストールする

弊社WEBサイトから、「FCコンシェルジュ」をダウンロードしてインストールします。

※コンピューターが再起動されますので、実行中のアプリケーションは、全て終了させておいてください。

- ① インターネットの検索サイトで、「FC コンシェルジュのダウンロード」を検索します。



- ② 検索結果の「各種ダウンロード | 土木CAD-福井コンピュータ」をクリックします。

検索結果に表示されない場合は、以下のアドレスを直接ブラウザに入力してください。

<https://const.fukuicompu.co.jp/user/download.html>



- ③ 弊社 WEB サイトの「各種ダウンロード」ページが表示されます。

画面を下にスクロールします。





1

2



3

4

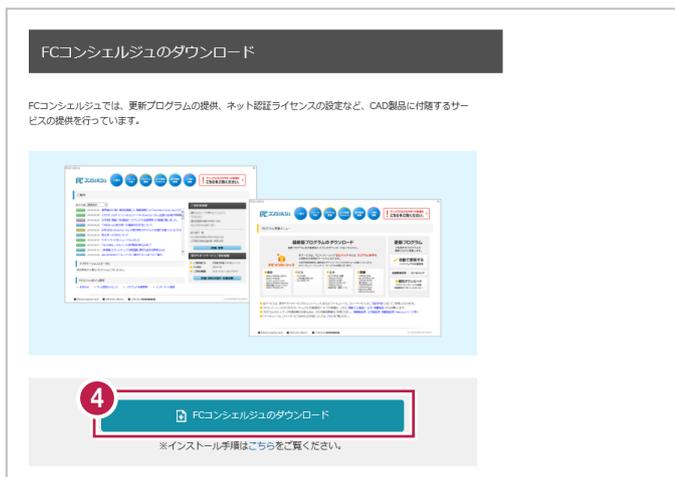
5

6

7

8

- 4 「FC コンシェルジュのダウンロード」をクリックします。



- 5 ファイルのダウンロードの画面が表示された場合は、「実行」を押します。

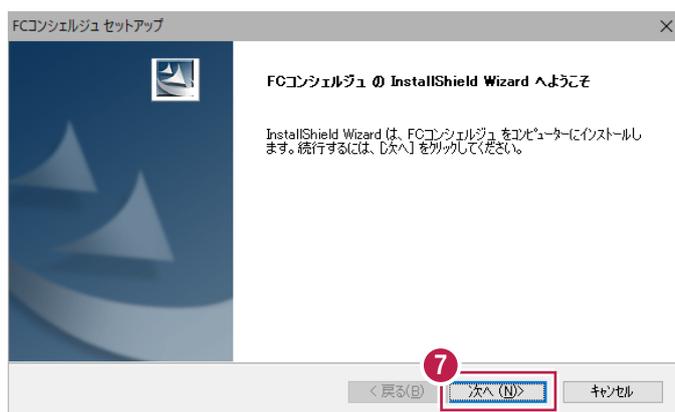
※PC に保存してから実行しても構いません。



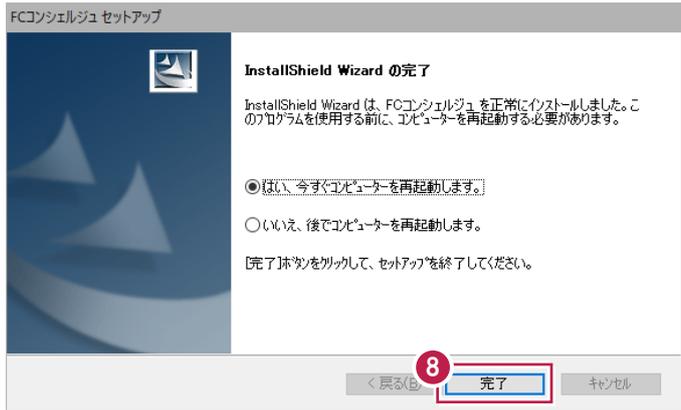
- 6 ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



- 7 FC コンシェルジュのセットアップが開始されます。
画面にしたがって、セットアップをおこなってください。

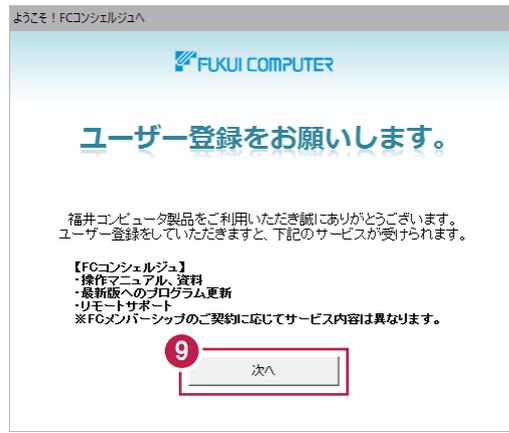


- 8 FC コンシェルジュのインストールを終えたら、コンピューターを再起動します。



- 9 コンピューターを再起動すると、FC コンシェルジュが起動します。
[次へ] をクリックして、ユーザー登録をおこなってください。

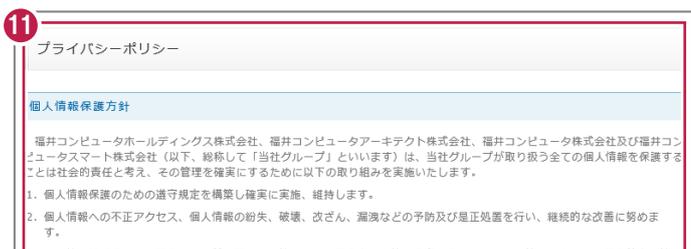
※ 最新プログラムのダウンロードなど、FC コンシェルジュの各種サービスを利用するには、ユーザー登録が必要です。



- 10 [プライバシーポリシー] をクリックします。



- 11 表示される [プライバシーポリシー] を最後まで熟読した後、画面を閉じます。



12 [プライバシーポリシーを承諾して次へ] をクリックします。



13 お客様の「ユーザーコード」と「製品シリアル」を入力して、[次へ] をクリックします。



補足 ユーザー登録時に「ユーザーコード」と「製品シリアル」の入力を求められた場合は

「ユーザーコード」と「製品シリアル」は、以下の部分に記載されています。ご確認ください。

●製品に同封されているネット認証
ライセンス証書

ユーザーコード	009999
ユーザー名	福井コト
製品シリアル番号	*****

●プロテクト裏面のシール

ユーザコード：半角数字6桁もしくは7桁

製品シリアルNo.：半角英数字10桁

または

- 14 「ご利用者名」「メールアドレス」などを入力し、
「登録する」をクリックします。



- 15 ユーザー登録を終えると、FC コンシェルジュが起動します。

以上で、「FC コンシェルジュのインストール」は完了
です。



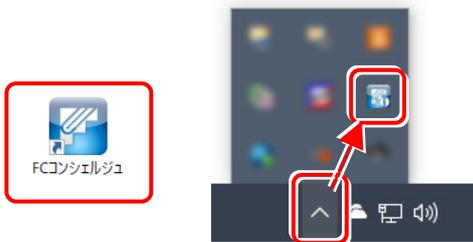


4

EX-TREND 武蔵のインストール

新パソコン（Windows10）にインストールしたFCコンシェルジュを利用して、EX-TREND武蔵を新規インストールする手順を解説します。

1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCコンシェルジュ」を開きます。



上部の[プログラム更新]をクリックします。



「更新プログラムのダウンロード」画面が表示されます。
[土木]をクリックします。



[ネット認証プロテクトをご利用のお客様]をクリックします。



[次へ: 最新版プログラムのダウンロード画面へ]をクリックします。



(次ページへ続く)

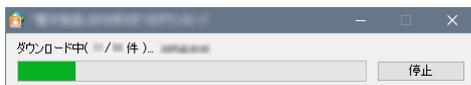
左の一覧で、[EX-TREND武蔵シリーズ]を選択します。



[インターネットから直接インストール]をクリックします。



ダウンロードが開始されます。

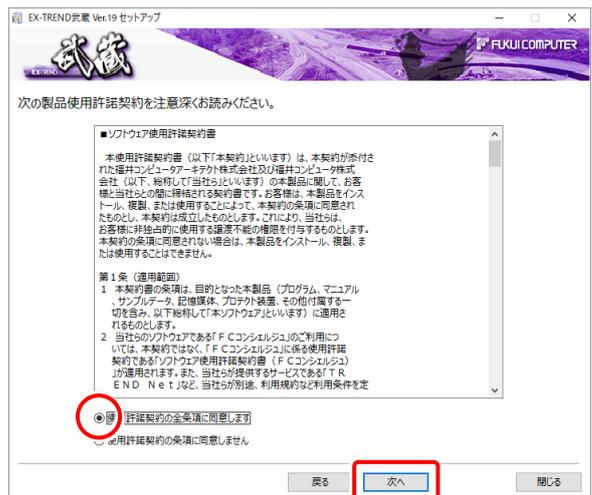


2. ダウンロードが完了すると、セットアップ画面が表示されます。

[簡単セットアップ(推奨)]を選択します。



[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



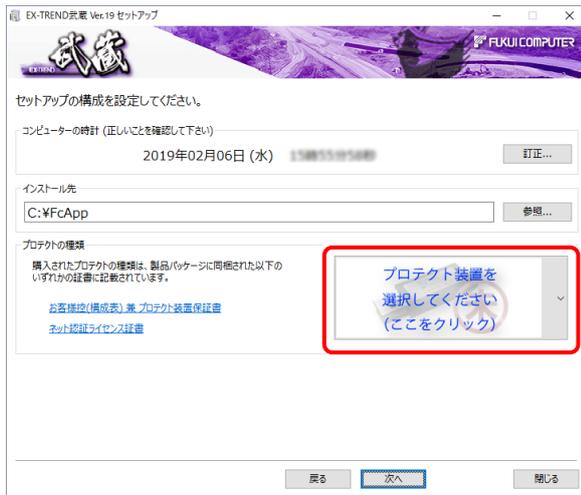
コンピューターの時計と、インストール先のフォルダーを確認します。必要があれば変更します。



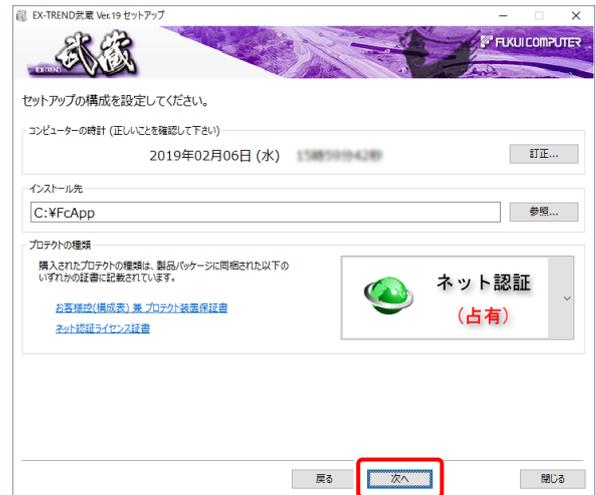
※ コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

(次ページへ続く)

[プロテクト装置を選択してください]をクリックします。



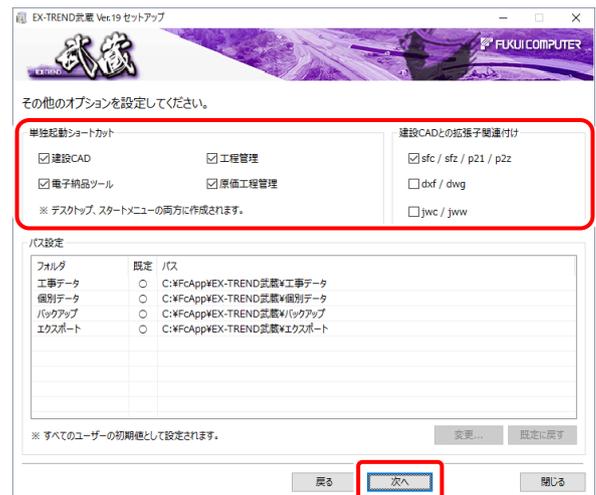
内容を確認して、[次へ]を押します。



「ネット認証 (占有)」を選択します。



その他のオプションを設定し、[次へ]を押します。



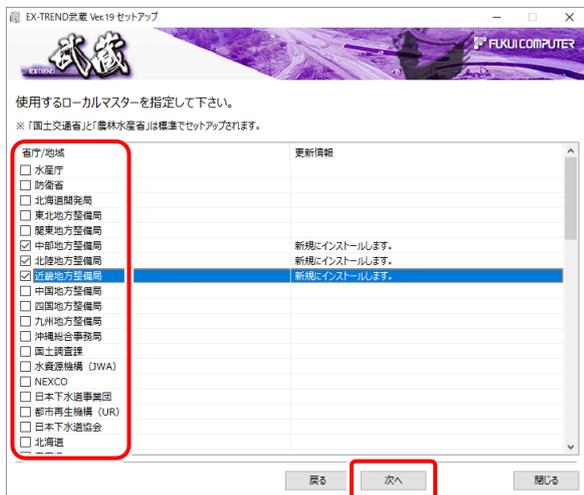
※ 単独起動ショートカットを作成すると、「インデックス」プログラムを使用しなくても単体でプログラムを起動することができます。

- ・単独起動ショートカット：すべてのチェックを「オン」
 - ・建設CADの拡張子関連付け：sfc/sfz/p21/p2z を「オン」
- でインストールすることをお勧めします。

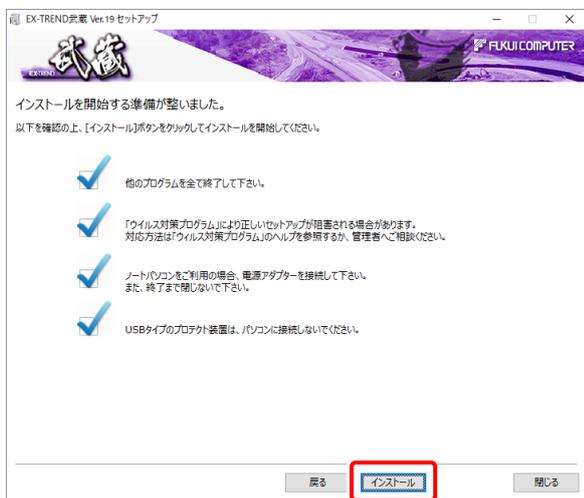
(次ページへ続く)

ローカルマスターとは、各省庁や都道府県別に対応した基準案・要領案などの設定ファイルです。受注する可能性のある、省庁や地域のチェックボックスをオンにします。

設定を終えたら、[次へ]を押します。



内容を確認して、[インストール]を押します。プログラムのインストールが開始されます。



インストールを終えたら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認して、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、EX-TREND 武蔵が正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、「ウイルスセキュリティソフトの誤認識について」ボタンから表示される資料を参考にしてください。

以上で、「EX-TREND 武蔵のインストール」は完了です。



5

ライセンスの認証

新パソコン（Windows10）でプログラムを起動して、ネット認証ライセンス（占有）の「プロダクトIDの認証」をおこないます。

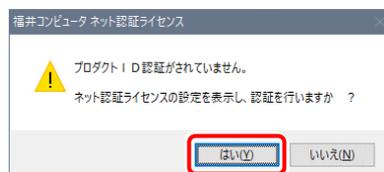
※ プロダクトIDの認証時は、インターネットに接続された環境が必要です。

5-1 ネット認証ライセンス（占有）の、プロダクトID認証手順

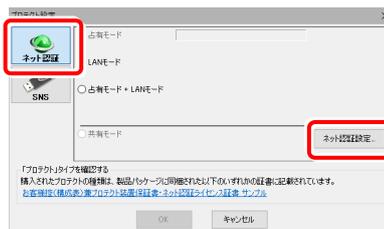
1. デスクトップの[EX-TREND武蔵 インデックス]をダブルクリックして起動します。



2. プロダクトID認証のメッセージが表示された場合は、[はい]を押して、ネット認証ライセンス(占有)の認証をおこないます。

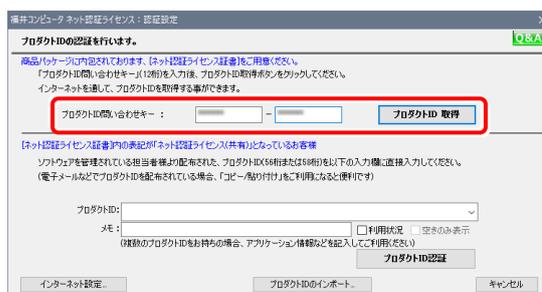


[プロダクト設定]画面が表示された場合は、[ネット認証]を選択して、[ネット認証設定]を押します。

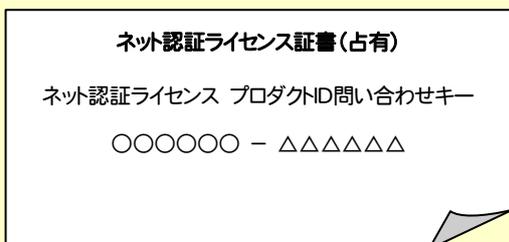


3. [プロダクトID問い合わせキー]を入力して、[プロダクトID取得]ボタンを押します。

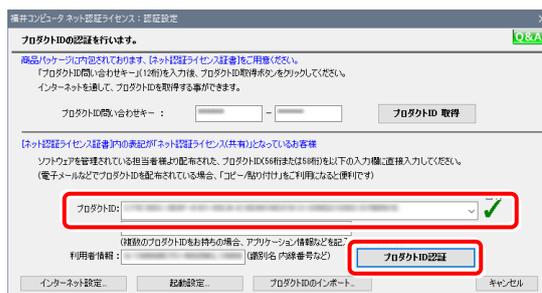
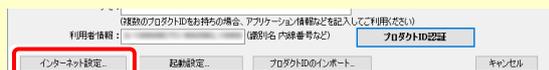
[プロダクトID]が取得されたのを確認したら、[プロダクトID認証]ボタンを押します。



[プロダクトID問い合わせキー]は 6桁+6桁 です。
送付される「ネット認証ライセンス証書(占有)」に記載されています。



※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



(次ページへ続く)

4. 「ライセンスの認証と解除の設定」画面が表示されます。

お客様のご利用環境に合わせて、「自動認証時の設定」と「自動解除時の設定」を設定してください。

自動解除は、以下の様な使用方法の時に設定します

事務所内など、常時インターネット接続が可能な環境で使用しており、

- 複数人でライセンスを使用する場合。
- 他のコンピューターでもライセンスを使用する場合。
- 商品構成の異なるプロダクトIDを、都度切り替えて使用する場合。

※ 自動解除の設定はお客様のご判断でご使用ください。



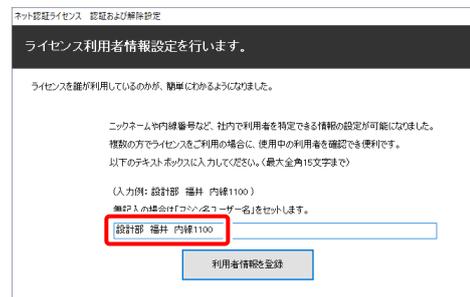
設定を終えたら、[OK] ボタンを押します。



利用者情報を入力して登録してください。

【利用者情報】は、プロダクトIDの利用状況(誰が使用しているか、どのコンピューターで使用されているか等)を確認する際に利用されます。

内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。



5. プログラムが起動します。

ここでは一旦プログラム右上の「×」ボタンをクリックして、プログラムを終了します。

以上で「ライセンスの認証」は完了です。





6

入力専用ライセンスの初期設定

入力専用ライセンスを使用すると、プロテクトが無い状態でも、印刷や成果の出力以外の作業をおこなうことができます。

ここでは新パソコン（Windows10）の、入力専用ライセンスの初期設定をおこないます。

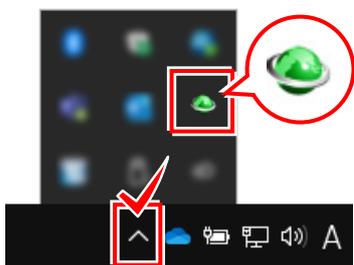
6-1 ネット認証ライセンス（占有）を認証する

入力専用ライセンスに、「ネット認証ライセンス」からライセンス情報を取得します。ライセンス情報の取得時には、ネット認証ライセンスを「認証済み」の状態にする必要があります。

1. 画面右下のタスクバーの通知領域にある、「FCネット認証ライセンスセンター」のアイコンを確認します。

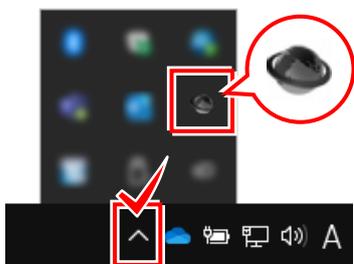
アイコンが「**緑色**」の場合は、ネット認証ライセンスは「認証済み」です。

次ページ
「入力専用ライセンスに、ライセンス情報を取得する」に進みます。

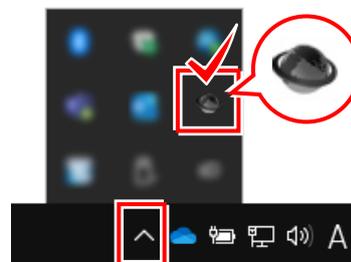


アイコンが「**灰色(グレー)**」の場合は、ネット認証ライセンスが認証されていません。

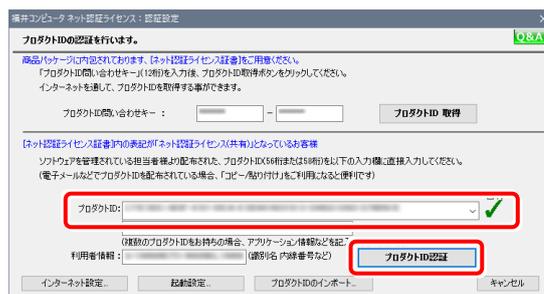
2. の手順に進み、ネット認証ライセンスを認証します。



2. 画面右下のタスクバーの通知領域にある、「FCネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックします。



3. 「認証設定」画面が表示されます。
「プロダクトID」を確認して、[プロダクトID認証]を押します



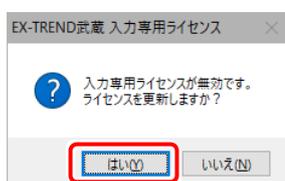
ネット認証ライセンスが認証されます。



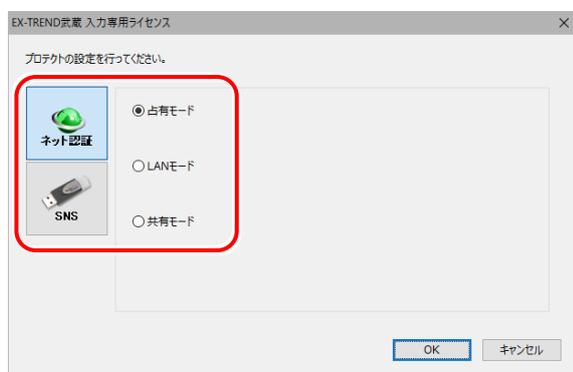
6-2 入力専用ライセンスに、ライセンス情報を取得する

認証中の「ネット認証ライセンス」から、入力専用ライセンスにライセンス情報を取得します。

1. デスクトップの[入力専用ライセンス]をダブルクリックして起動します。



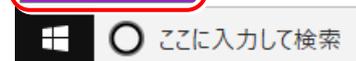
2. 使用するプロテクト (ライセンスの取得先のプロテクト) を選択して、[OK]を押します。



[LANモード]を選択した場合は、プロテクトのサーバー名を入力してください。



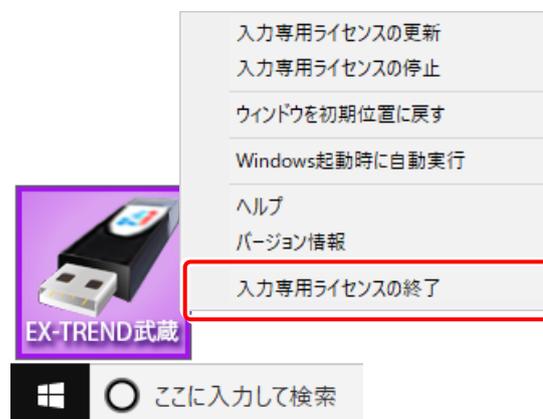
3. ライセンス情報が取得され、デスクトップ左下に「入力専用ライセンス」が起動します。



4. 入力専用ライセンスは、使用しないときには終了させておきます。

起動させたままだと、プロテクトが装着されていても入力専用で動作してしまいます。

[入力専用ライセンス]でマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから、[入力専用ライセンスの終了]コマンドを実行します。



以上で、「入力専用ライセンスの初期設定」は完了です。



7

データ・設定のリストア（復元）

旧パソコン（Windows7）でバックアップしたEX-TREND武蔵の「工事データ」と「設定」を、新パソコン（Windows10）のEX-TREND武蔵にリストア（復元）します。

7-1 バックアップした工事データをリストア（復元）する

バックアップした工事データをリストア（復元）する手順です。 ※インデックス以外のプログラムは終了しておいてください。

- ① 「工事データ」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）を、パソコンにセットします。



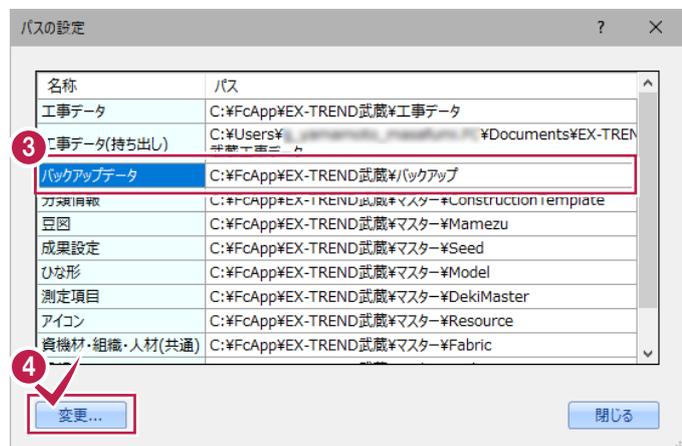
- ② インデックスを起動して、リストア（復元）するバックアップデータの保存先フォルダーを指定します。

インデックスの
[ツール] - [パスの設定]
をクリックします。



- ③ 「バックアップデータ」を選択して「パス」を確認します。

- ④ 「パス」がバックアップデータの保存先フォルダーと異なる場合は、[変更] をクリックします。





1

2



3

4

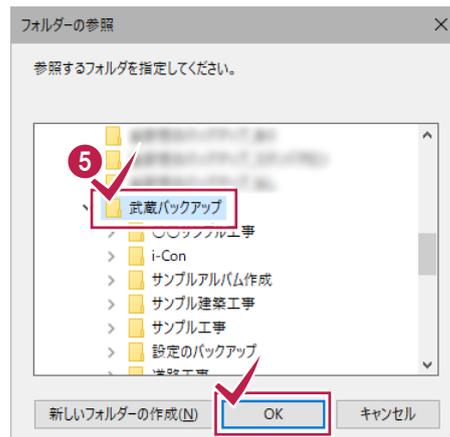
5

6

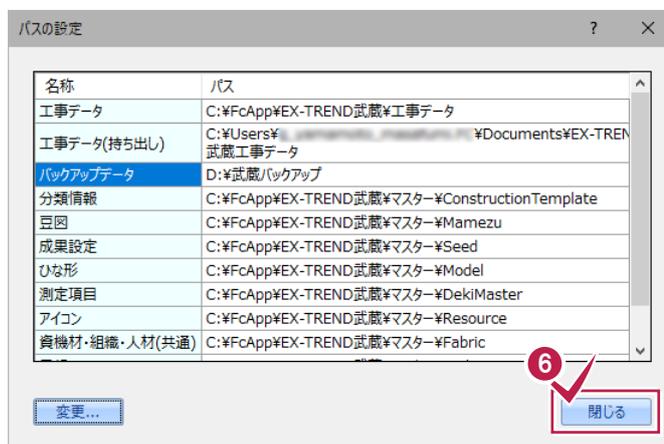
7

8

- 5 バックアップデータの保存先フォルダーを選択し、
[OK] をクリックします。

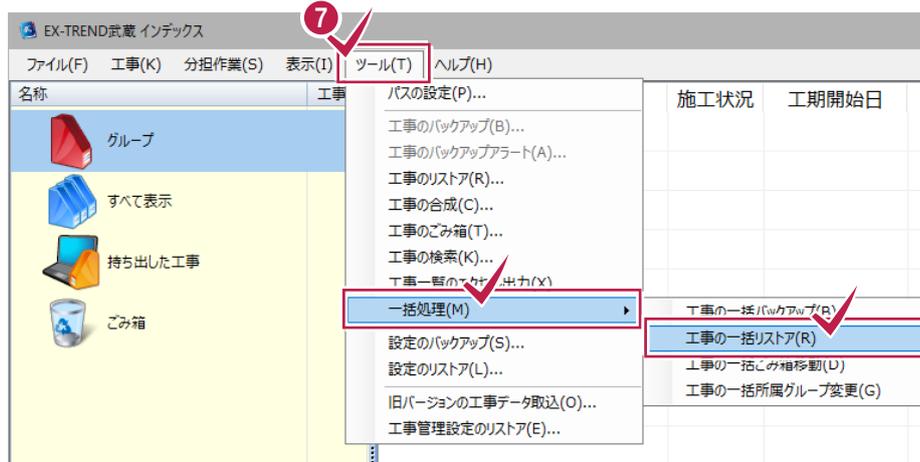


- 6 [閉じる] をクリックします。



- 7 工事データのリストア（復元）を実行します。

インデックスの
[ツール] - [一括処理] -
[工事の一括リストア]
をクリックします。





1

2



3

4

5

6

7

8

- 8 バックアップデータ内にある工事名が表示されます。

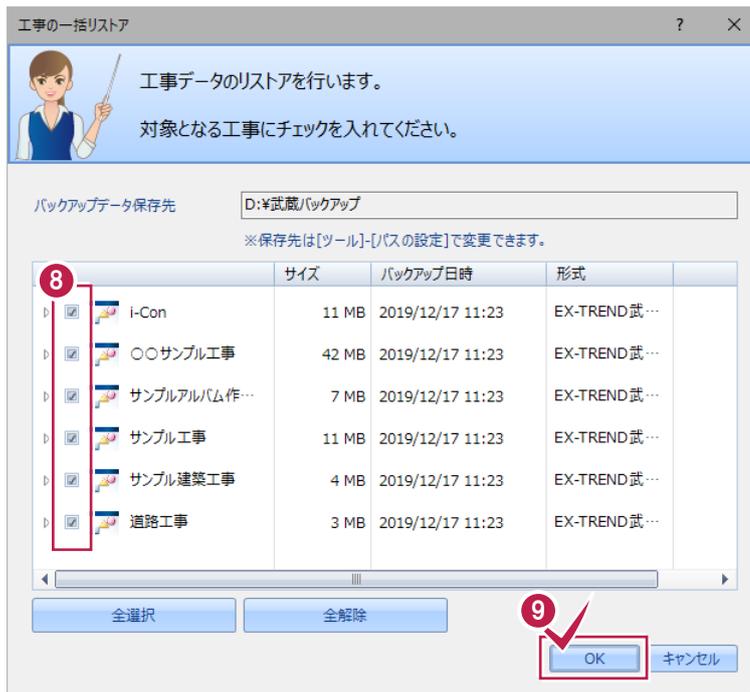
リストア（復元）する工事名のチェックを「オン」にします。

すべての工事データをリストア（復元）する場合は【全選択】をクリックします。

リストア（復元）したい工事データの工事名が表示されない場合は

インデックスの【ツール】 - 【パスの設定】で、「バックアップデータ」の「パス」を、バックアップデータの保存先フォルダーに変更して下さい。

- 9 【OK】をクリックします。



- 10 【はい】をクリックします。

リストア（復元）が開始されます。



- 11 リストア（復元）が完了したら【OK】をクリックします。

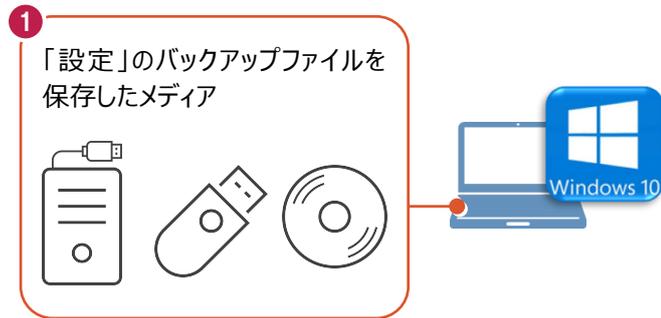


以上で、「工事データのリストア（復元）」は完了です。

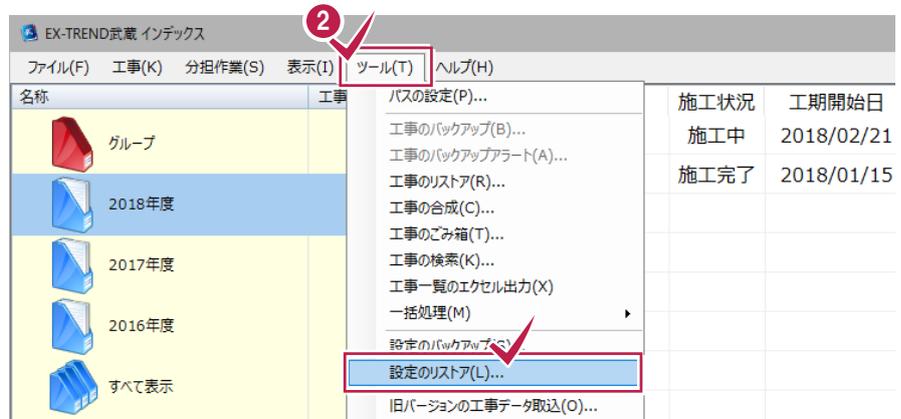
7-2 バックアップした設定をリストア（復元）する

バックアップした設定をリストア（復元）する手順です。 ※インデックス以外のプログラムは終了しておいてください。

- ① 「設定」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）を、新パソコンにセットします。

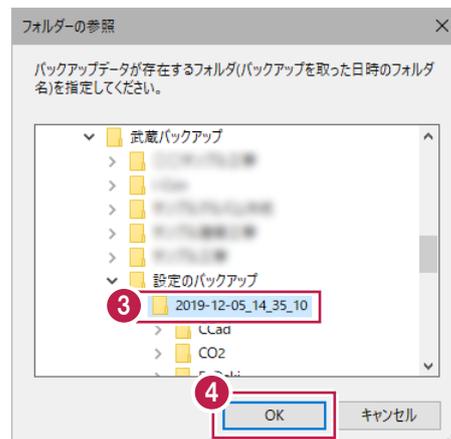


- ② インデックスの
[ツール] - [設定のリストア]
をクリックします。



- ③ 設定をバックアップしたフォルダー（日時のフォルダー）を指定します。

- ④ [OK] をクリックします。





1

2



3

4

5

6

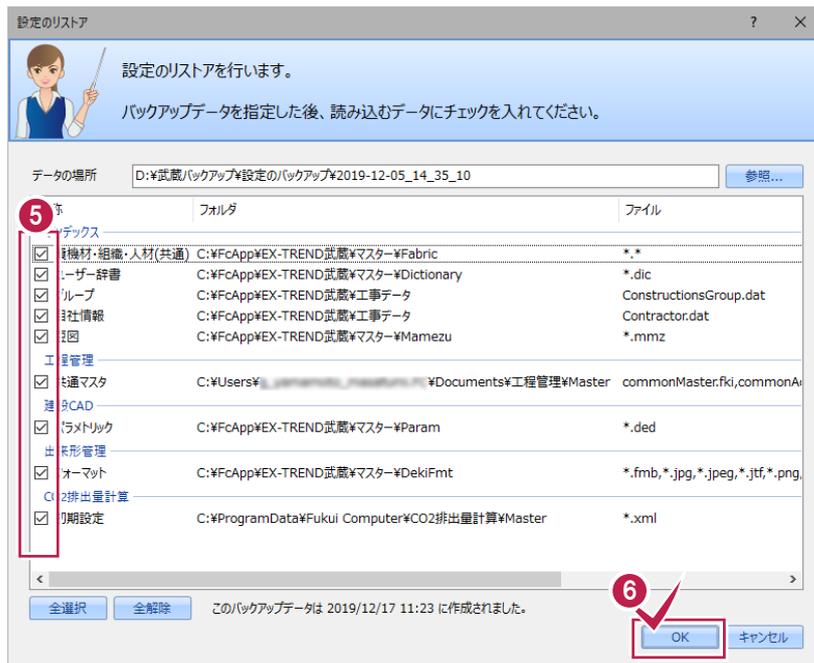
7

8

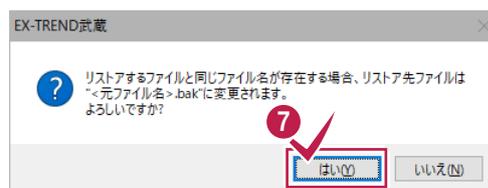
- 5 リストア（復元）する設定のチェックを「オン」にします。

すべての設定をリストア（復元）する場合は「全選択」をクリックします。

- 6 [OK] をクリックします。



- 7 [はい] をクリックすると設定のリストア（復元）が開始されます。



- 8 リストア（復元）が終了したら [OK] をクリックします。



以上で、「設定のリストア（復元）」は完了です。



8

セキュリティソフトの除外設定

セキュリティソフトに誤認識されてしまうと、起動や保存障害などの不具合が生じることがあります。このような状態を事前に回避するため、弊社プログラムがウイルスの検出対象にならないように、セキュリティソフト側であらかじめ除外設定（検出対象から除外する設定）する手順について解説します。

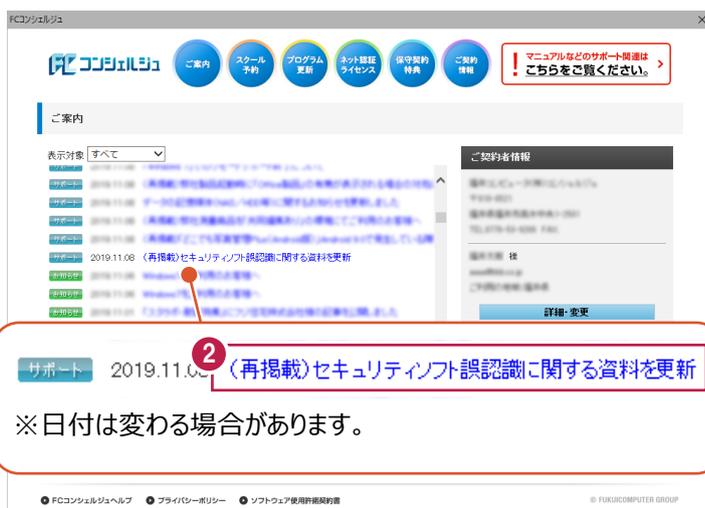
8-1 除外設定の手順書を開く

- ① デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FC コンシェルジュ」を起動します。

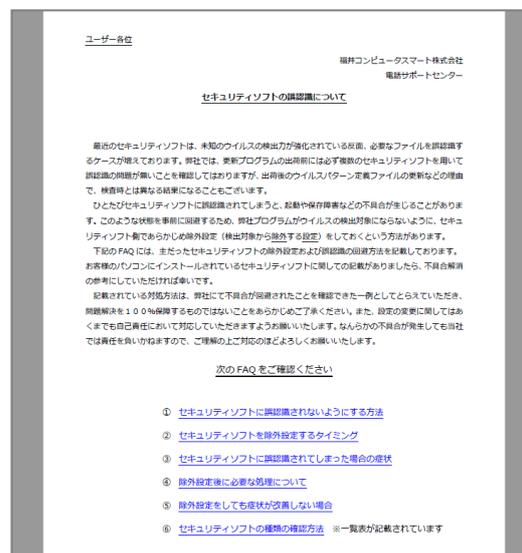


- ② FC コンシェルジュの「ご案内」にある「（再掲載）セキュリティソフト誤認識に関する資料を更新」をクリックします。

（※ご案内の日付は変わる場合があります。）



- ③ 「セキュリティソフトの誤認識について」の PDF が開きます。内容を確認してください。





1

2



3

4

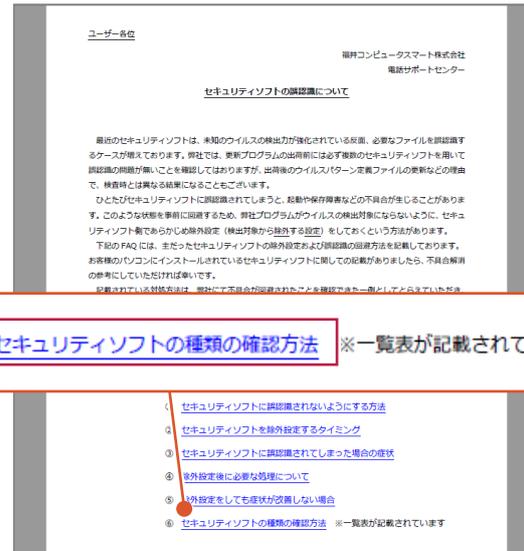
5

6

7

8

4 「⑥ セキュリティソフトの確認方法」をクリックします。



5 セキュリティソフトの FAQ が表示されます。

「製品別手順書」で、お使いになっているセキュリティソフトをクリックすると、除外設定の手順書が表示されます。

手順書を参考にして、セキュリティソフトの除外設定をおこなってください。

FUKUI COMPUTER 起動関連

検索したい語句を入力してください。

起動関連 > セキュリティソフト

プログラム名	起動関連	Ver.	-	ID	SYS0028	更新日	2019/11/22
<p>Q: 自分のPCに入っているセキュリティソフトの種類はどのようにして確認できますか。</p> <p>A: デスクトップや通知領域のアイコン、スタートメニューのプログラム名などでご確認ください。 次の一覧より、各セキュリティソフトの除外設定手順に進めます。</p>							
販売元	製品別手順書						
トレンドマイクロ	ウイルスバスター クラウド Ver.16 ※NTTレックツウィルスクリア・セキュリティ対策ツールはこちら ビジネスセキュリティ クライアント ビジネスセキュリティ サーバー ウイルスバスター コーポレートエディション (クライアント) ウイルスバスター コーポレートエディション (サーバー)						
シマンテック (ノートン) シマンテック	ノートン インターネットセキュリティ ノートン アンチウイルス ノートン 360 エンドポイント プロテクション エンドポイント プロテクション クラウド						
マイクロソフト	セキュリティ エssenシャルズ マイクロソフト ディフェンダー Windows セキュリティセンター						
ソースネクスト	ウイルスセキュリティ ゼロ スーパーセキュリティ ゼロ						
カスペルスキー	インターネット セキュリティ (アンチウイルス) ※@Niftyの常時安全セキュリティ24はこちら エンドポイント セキュリティ						
マカフィー	リブセーフ インターネットセキュリティ Ver.16						

OS (※1)	Windows 10 November 2019 Update バージョン1909(32/64bit) Windows 8.1(32/64bit) Windows 7 SP1(32/64bit)										
CPU	Core 2 Duo 以上										
必要メモリ	32bitOS:推奨 3.0GB (最低2.0GB 以上) 64bitOS:推奨 4.0GB (最低2.0GB 以上)										
必要HDD容量	2.0GB 以上										
必要解像度	推奨 1600 x 1200 (最低1280 x 1024 以上)										
その他	<p>Internet Explorer 11.0 以上必須 VIDEO : OpenGLをサポートするグラフィックボード(「建設CAD」の[3D]コマンド実行時) VIDEOメモリ : 64MB以上(推奨 128MB以上、「建設CAD」の[3D]コマンド実行時) Google Earthデータを閲覧するにはGoogle Earth™を別途インストールする必要があります。</p> <p>●Microsoft Office (Excel) : 書類作成機能/CAD連携機能</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>バージョン</th> <th>サービスパック</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2019 (32/64bit)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2016 (32/64bit)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2013 (32/64bit)</td> <td>SP1 以降</td> </tr> <tr> <td>2010 (32/64bit)</td> <td>SP1 以降</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「ストアアプリ版」のOfficeがインストールされている環境では、一部機能が正常に動作しません。「デスクトップアプリ版」のOfficeをご利用ください。</p>	バージョン	サービスパック	2019 (32/64bit)		2016 (32/64bit)		2013 (32/64bit)	SP1 以降	2010 (32/64bit)	SP1 以降
バージョン	サービスパック										
2019 (32/64bit)											
2016 (32/64bit)											
2013 (32/64bit)	SP1 以降										
2010 (32/64bit)	SP1 以降										

(※1)64bit版上で動作させる場合、64bitネイティブアプリケーションとしてではなく、32bitアプリケーションとして動作しますのでご注意ください(WOW64対応)。

- ※ 上記動作環境は2019年12月時点のものです。動作環境は予告なく変更する場合があります。
- ※ プログラムによっては動作環境が異なる場合があります。
- ※ Office製品は、Microsoft社製のものに限ります (Office互換製品は保証対象外)
- ※ Office365は、「インストール版」のみ動作保証します。ブラウザーで参照可能な「オンライン版」のOffice365は動作保証外となります。
- ※ 動作確認テストは、動作環境で行っております。
- ※ Windows10以外のアップグレードしたOSでの動作は保証外です。
- ※ 仮想マシン上での動作は保証外です。
- ※ 必要HDD容量は、データの大きさにより異なります。
- ※ CPUは、Intel社製 Coreに限ります。
- ※ プログラムのインストール時にDVD-ROMドライブまたはネットワーク環境などのDVD-ROMを認識できる環境が必要です。
- ※ 「施工計画書作成支援」および「インデックスの書類作成機能」はOffice2010、Office2013、Office2016、Office2019のいずれかが別途インストールされている環境が必須です。(64bit版の場合、「施工計画書作成支援」では、一部動作に制限があります)
- ※ プログラムのインストール先としてNASのご利用はできません。またデータを直接NASに保存することは推奨できません。
- ※ データやLANプロテクト等のルーター越えでの運用はプログラム動作保証外です。
ルーター越えの運用とは、場所の離れた拠点(例えば支店や営業所)から本社に設置しているサーバにあるデータやLANプロテクトのライセンスを取得するケースとなります。